

# BOATMEN

NPO法人 石川県小型船安全協会会報「ボートメン」 23号 (2011年12月発行号) Vol. **23**



トピックス …小松で水面利用協議会検討会、ざぶん賞 2011表彰式

活動報告 …… マリンレジャー安全旬間出動式、海難訓練、夏のイベント など

行政から …… 23年度事故の状況、金沢・七尾海上保安部着任のご挨拶

ざぶん賞受賞作品 © ポートマンズエッセイ・家をなくして

## 小松 梯川水面利用に関する検討会が始まりました。

8月30日、11月28日 梯川水面利用調整会議準備会が小松市役所にて開催。

関係機関が参加し、梯川の係留に関する会議が2回開催されました。国土交通省 金沢河川事務所、石川県河川課・水産課、小松市農林水産課・道路河川課、漁業協同組合小松支所、安宅町内会連合会、鶴ヶ島町内会の皆様、および当会の小松マリクラブが出席しました。

1回目の会議では、会の趣旨、これまでの経緯や安宅漁港の現状説明、2回目は梯川の係留状況と、全国の係留対策事例の説明がありました。

梯川については、全国の一級河川(国の管理)の中でも急流であり、暫定的な施設も設けにくいこと、また、過去複雑な経緯があることなどの背景で、近隣の係留施設の確保が課題となっています。

### ●係留問題に関する当会のこれまでの活動

問題解決に向けて、批判や自己保身ではなく具体的に協力しあうことを訴え、行動しています。

当会では、今日まで受益者負担を前提として、適正な係留施設の確保に具体的な方針を示し行動しています。

県内全域を対象にウォーターフロントパーク計画を提案し、まずは金沢港内で新たな係留施設の建設を実現させました。当時係留が不可とされていた場について、県河川課の理解と協力を得、国の関係省庁や舟艇工業会、マリン事業協会などとも連携。当会金沢支部が主体者となり、大野川河口部に施設(ウォーターフロントパーク金沢)を設置いたしました。

加賀地区においても常に関心を示し、実態の調査と供に、これまでも協議会開催を訴えておりました。



## ざぶん賞2011表彰式開催

11月27日 金沢で表彰セレモニー開催

当会が共催しているざぶん賞の表彰式が、金沢市のエクセル東急ホテルにて開催されました。今回は全国の小中学生から過去最高の6,502作品の応募が、また石川県からも約700作品が集まりました。全国表彰と石川県地区表彰に選ばれた皆様が招かれ、約180名が参加しました。

式では、会長の月尾嘉男氏(東京大学名誉教授)があいさつ、先の大震災の現場を例に、これまでの日本人の知恵を示し、水の大切さや再生に向けての提言をいただきました。続いて来賓を代表し、金沢市長の山野之義氏が、また顧問の馳 浩氏(第1回目実行委員会会長)が歓迎のあいさつを行い、その後各入選者に順に壇上で賞が授与されました。石川県内の入選者には、石川県知事賞、石川県教育委員会賞、金沢市長賞、うみまる賞(金沢、七尾両海上保安部長表彰)がそれぞれ渡されました。



### おかげさまで10周年。記念の今年は福島県波江町出身の小中学生に大賞授与

ざぶん賞は当会が企画し、石川県で海の祭典が開催された2002年に始まりました。その後県内、全国各地の皆様や海上保安庁の協力を得て発展し、10回目を数えました。

そこに未曾有の大災害が発生。継続すべきかどうか検討しましたが、有識者からこれからの日本にますます求められる事業であるのご意見があり、これからも前向きに継続することとなりました。

その記念の年、福島県波江町で被災し、秋田県に移り住んだ小学4年の稲垣颯一郎君の作品が大賞に選ばれました。短い詩の中に多くの思いが込められている力作でした。

福島県からはこれまでも、被災地の双葉町や波江町などから多くの作品が応募されていました。

式に出席した稲垣君は、元気よく作品を朗読し、参加者の多くが感銘を受けていました。

## ざぶん大賞作品紹介

おれはシャンプーがきらいだ

元福島県浪江小学校4年在籍  
稲垣颯一郎

八の倍数しか洗わない

おかあさんは

「せめて五の倍数で洗え」って言う

五日、十日、十五日、六回も？

おかあさん、

それじゃあエコじゃないよ

水もシャンプー買うお金も

もったいないよ

今、おれは毎日シャンプーしてる

ほうしゃのうを落とさないと

毎日洗わないと

死んじゃう気がするから

ふつうの人だった時も

ひなんみんなになってからも

おれはシャンプーがきらいだ



## 被災地に義援金を寄付しました

7月6日 北國新聞社に持参

3月の大震災では、ボート関係者も多く被災。施設まるごと消失したマリナーもありました。

こうした海の仲間をはじめ、海の被災者に向けて義援金を寄付しました。当会を代表し、副会長の南野氏と吉田氏が北國新聞社に寄付金を持参しました。

## 能登島里海シーカヤック大会に協力

7月9、10日 能登島で開催

能登島の豊かな自然を海から探索し、その環境保全と心身の健全な育成を目的とする能登島里海シーカヤックフェスティバルに今年も能登支部が協力。2日間に渡り、能登島周囲のコースで行われました。



今年は両日試乗会を開催。初心者の皆様を中心に、県内外から約200名が参加しました。

当会は運営全般に関わると共に、走行の海上の監視など、安全な海洋レジャーの保持に協力しました。

## 活動報告

### 総会開催。22年度の計画が承認

2月21日 金沢市で

総会は、会員、および来賓の皆様、約80名が出席され、金沢支部の協力により、金沢市で開催されました。前年同様、安全活動、環境保全、文化創造に関する事業計画が立案、承認されました。

議案審議では、引き続き安全指導、パトロールの活動強化、ライフジャケットの着用徹底を県内各地で行うこと、係留保管場所整備、マリンスポーツ振興事業、文化創造事業の実施が承認されました。



### 海上指導員講習会を開催

金沢支部 3月8日、能登支部 12月11日

各地で海上安全指導員の講習会を開催しました。

現在、海上保安員は、金沢海上保安部管轄28名、また、七尾海上保安部管轄22名の計50名の会員に委嘱され、海上で活動しています。

### マリンレジャー安全推進旬間出動式

4月29日 金沢港で(金沢支部)

4月30日 七尾港で(能登支部)

能登支部では能登水難救済会、七尾海上保安部とともに、マリンレジャー安全推進旬間における出動式、および海難訓練を行いました。

七尾市、穴水町のメンバー合同での開催となり、会員59名が参加しました。

訓練は警察署、消防署、も参加し、第9管区海上保安部保安本部所属のヘリコプター「らいちょう」、巡視船「はまゆき」、「おきかぜ」が参加し、曳航、人命救助など一連の訓

練を行いました。

金沢支部でも金沢海上保安部の協力のもと出動式を行いました。



## 各地で合同安全訓練、講習会を実施

### 6月5日 小松安宅沖

加南支部(小松マリクラブ、手取会)と小松美川水難救済所の合同海難訓練を実施しました。金沢海上保安部、小松消防署ら関係団体の協力の下、会員41名、約20隻が参加、陸上に設置した本部艇の指示のもと、海上で行方不明者捜索、海中転落者救助、発炎筒点火等の訓練を実施しました。



### 6月11日 羽咋滝港

滝港にて羽咋支部、羽咋マリクラブは、羽咋救難所との合同の海難訓練に参加しました。海上保安部員の指導のもと、会員35名が海難発生時の初期連絡体制の確認とともに、曳航訓練・発炎筒点火訓練などを実施しました。



### 10月23日 輪島沖、10月30日 穴水沖、 9月24日 珠洲沖

輪島、穴水、珠洲地区でもそれぞれ訓練を行いました。輪島では石川県主催の防災総合訓練に28名が参加。第9管区海上保安部保安本部所属のヘリコプター「らいちょう」、巡視船「はまゆき」、「おきかぜ」も参加しました。穴水では38名が、珠洲では22名が参加しました。

## 夏のイベントを各地で開催。

### 金沢港 港フェスタ

#### 7月16日 金沢港

今年は天候も良く、金沢港で港フェスタが開催されました。金沢支部の会員43名が協力し、約250名の一般の皆様を乗船、体験航海を行いました。今回は子どもの段階からジャケットの必要性を体でお覚え手もらおうと、参加全艇に子供用のライフジャケットを用意しました。



### ボート天国・マリンスポーツチャレンジデー

#### 7月20日 七尾港

恒例となった七尾港の体験航海「ボート天国」が開催されました。約320名の多くのご家族や子供たちがボートを体験しました。

七尾マリン協会、雌島クラブ、七尾セーリング協会が協力しました。



## 親子ボートフィッシング大会

7月24日 小松、美川

今年も小松、美川で、親子を対象としたボートフィッシング大会が開催されました。

小松マリクラブと手取会のメンバーが協力、小松では92名、美川では30名の親子が参加し、きず釣りなど体験しました。

ボートクルージングも行い、多くのご家族や子供たちがボートを体験しました。



## トライアスロン珠洲大会に今年も協力

8月28日 珠洲 鉢ヶ崎

トライアスロン珠洲大会に、今年も長浜マリン協会の皆様が、スイムの海上安全において協力いたしました。メンバー 33人(隻)がボートを提供し、各配置にて監視しました。

### 会員から

#### 男の料理教室 加賀マリクラブ

加賀マリクラブでは、毎年恒例となっている男の料理教室を9月に開催しました。アジ、フクラギを使って、刺身、酢の物、揚げ物など本格的なレシピと作り方を習いました。全国的に魚嫌いが進む昨今ですが、海の恵みに感謝して、次の世代を育てることも大切な役割です。



## 各地でクリーンビーチ、森の植樹や草刈りに参加

金沢支部 5月29日、能登支部 7月10日

加南支部 6月5日、11月8日、他各地

今年もクリーンビーチに協力し、金沢は大野、金石で、能登では能登島で清掃を行いました。

加南支部では大聖寺川漁業組合マリクラブが山中県民の森で草刈りと植樹を行いました。





スナップ



●安全事業  
安全旬間出動式  
(金沢・七尾)  
海難訓練  
(羽咋・小松)



●海洋体験、  
環境保全啓発事業  
・金沢港フェスタ  
体験クルージング  
・能登島  
シーカヤック大会  
・七尾湾ポート天国



●文化創造事業  
さぶん賞2011  
表彰セレモニー  
金沢



**編集後記** 最近テレビでは記者会見で頭を下げる幹部の姿が頻繁に映ります。我が国は天災に加え人災も増加しているようです。昨今自然の猛威にさらされていることは事実ですが、簡単に言えば何でも人のせいにする、自己保身を第一に考えるという人たちが増え、その行動が災害も大きくすることに結びついていないでしょうか。天災も人災も何と最小限にとどめることが理想ですが、もう一度我が国の先人の知恵に学び、相互理解と互助意識が必要です。昨年能登半島が世界農業遺産に認定されました。自然の恩恵に感謝し、それを生活に活かし命を繋いできたこの地の皆様の営みや産物が評価されたようです。今こそ我が故郷に誇りを持ち、次代の子供たちに受け継いでいきたいものです。